

第23回 永山子ども基金チャリティトーク&コンサート

ペルーの働く子どもたちへ

コンサート

『平和のための音楽』

演奏 笹久保伸 (ギター)

青木 大輔 (サンポーニヤ)

講演

『罪を犯さずに済んでいる私たちができること』

講師 三宅 晶子

(株式会社ヒューマン・コメディ代表)

映画

『ペルーの働く子どもたち物語 Vol. 17』

制作 クシ・ピンク協会

Nから子どもたちへ

2026年 8月 22日 (土)

開場 12:30 開演 13:30

会場 中央大学茗荷谷キャンパス 1F 特大教室

東京都文京区大塚 1丁目 4-1 (裏面に地図)

入場料

前売 2,500円/当日 3,000円

学生または 22歳以下 1,500円

(学生は大学院生含む)

中学生以下 無料

チケット申し込みは右のQRコードまたは下記
永山子ども基金ホームページからお願いします。

<https://nagayama-chicos.com>

お問い合わせは nagayamacf@gmail.com



主催：永山子ども基金

共催：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本／一般社団法人若草プロジェクト／神奈川シティユニオン／認定NPO 法人国際子ども権利センター／
特定非営利活動法人CrimelInfo／クシ・ピンク協会／パチャママ基金

助成：一般社団法人ルカ基金

協賛：中央大学／ピースポート

協力：フリースクールくるーず (NPO法人たねの会)／しろいあお foodstore

画：井江春代



コンサート

平和のための音楽



笹久保 伸 (ギター)

2004年、2008年ペルーに渡りペルーの農民や人間国宝からアンデスギター音楽を学ぶ。現代音楽とアンデス音楽を演奏するギタリストとして南米やヨーロッパで演奏。自身の故郷である秩父の民俗や環境にフォーカスしたアートコレクティブ「秩父前衛派」としても活動し、瀬戸内国際芸術祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、金沢21世紀美術館、市原湖畔美術館などで作品を発表。2026年現在までに45作の音楽アルバムと、映画4作品、写真集3冊を発表している。

青木 大輔 (サンポーニヤ)

群馬県出身のサンポーニヤ奏者。基本的な奏法をペルー人に学んだ後、独自に研鑽を積む。2009年から秩父のアートコレクティブ「秩父前衛派」に参加し、音楽、映画、芝居、パフォーマンスに参加。キューバのハバナビエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭、金沢21世紀美術館などでパフォーマンス。即興・独自の演奏スタイルを貫く。



講演

罪を犯さずに済んでいる私たちができること

三宅 晶子 (株式会社ヒューマン・コメディ代表)

1971年、新潟市生まれ。中学時代から非行を繰り返し、高校を1年で退学となる。お好み焼き屋で就職中、父からもらった1冊の本をきっかけに大学進学を志す。早稲田大学第二文学部卒業。貿易事務、中国・カナダ留学を経て株式会社大塚商会入社。2014年同社退職後、受刑者支援団体等でボランティアをおこなう。その活動中に犯罪歴のある方の社会復帰が困難な現状を知る。2015年(株)ヒューマン・コメディ設立。非行歴・犯罪歴のある方の採用支援をおこなう。2018年、受刑者等専用求人誌『Chance!! (チャンス)』創刊。



映画 ペルーの働く子どもたち物語

Vol.17

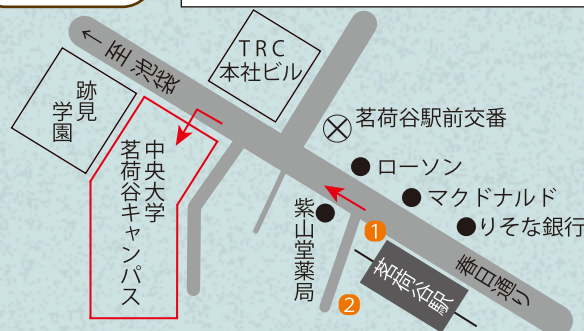
総監督：義井 豊
制作：クシ・プンク協会



会場地図

中央大学 茗荷谷キャンパス

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」①出口を出て、春日通りを池袋方向に徒歩約1分



中央大学(多摩キャンパス)法と正義の資料館で、第3回企画展「誰も排除しない社会へ 弁護士大谷恭子の挑戦」が5月18日から開催されています。詳細は中央大学・法と正義の資料館サイト内「展示紹介」覧でご確認ください。

